



東京八王子プロバスクラブ

創立1995年10月18日

プロバスだより

第155号

2008年10月9日発行

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

編集・発行：情報委員会

2008~09年度テーマ

『学びそして発信しよう、より豊かな地域社会を求めて』

第155回 例会

- ・日時：平成20年9月11日（木）12:30～15:30
- ・場所：八王子エルシィ 3階
- ・出席者：出席60名 出席率88.2%
- ・ご来賓：ございません。

1. 多村例会委員長の司会で開会

2008年新執行部がスタートして、3回目の155回9月度例会を始めさせていただきます。

先ず開会にあたって、さる8月14日享年86歳で亡くなられたプロバス第3代会長、故野口正久氏ご冥福を祈り、黙とうをささげます。

黙禱



黙とうを捧げるプロバス会員



在りし野口氏 ご友人提供

2. 会食(12:30~13:00)

洋食

(サラダ・ハンバーグステーキ・ライス・デザート)

3. 矢島会長挨拶

今年の記録的な暑さもうやく峠を越えたらしく、朝晩はだいぶしのぎやすくなりました。今月も大勢の会員の方々に元気に例会に出席いただきまして、大変ありがとうございます。先ほど、多村例会委員長から話がありましたように、プロバスクラブの結成当時のメンバーのお一人で、平成10年度には会長を勤められた野口正久会員が8月14日、病のために亡くなりました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

さて、本年度の運営方針の一つであります、例会の場を利用した地域研修開催の件ですが、その後いろいろ検討を重ねてまいりましたが、話し



手の都合や例会の開催条件から、本年度中の例会での同時開催が困難な状況となりました。つきましては、後ほど橋本研修委員長から提案をいたしますが、研修会単独での開催を考えておりますので、何かとお忙しいこととは思いますが、会員皆様のご理解とご協力をいただいて、多くの方々が参加されますようお願いいたします。

また、8月28日には、立川会員が所属する八王子フィルハーモニー管弦楽団がドイツのザクセン交響楽団ケムニッツ管弦楽団を招聘しての合同演奏会の後、日独文化交流の一環として、私どものお茶の会のメンバー方がお手前で接待して頂きまして、大変感謝されたそうでございます。お忙しいなかお茶の会のみなさまには大変ご苦労様でした。

4. ご来賓：本日はございません

5. 新入会員紹介・挨拶

紹介者 杉山会員（写真）

戸谷修丈（トヤ・ノブタケ）氏を紹介いたします。戸谷さんは現役終了後八王子地区の保護司会の副会長を務めております。罪を犯した人



を更生、社会復帰させるため、保護司の力を重点的に活用していく國の方針で保護司の社会的地位はさらに重くなっています。我がプロバスクラブにかかる一員を加えようという紹介した所以であります。今回の推薦者は私と河村会員との共同推薦です。

戸谷修丈氏入会挨拶（写真）

民間ボランティアとして活動しています。不幸にして罪を犯したり、非行に走った人の一日も早い社会復帰を願って、21年間奉仕してきました。よろしくお願ひいたします。

履歴：昭和12年八王子に生まれ八王子育ちの土地っ子。現在八王子西寺方町に住居。

平成10年市役所定年退職、その間環境、社会教育の両部長等歴任、現職：八王子地区保護司会福会長をはじめ法務省管轄組織の役員等につく。

趣味：歴史 民族学 ハイキング

6. 議事

(1) 幹事報告(矢崎幹事)

- 来月は特別勉強会が開かれます。後ほど橋本研修委員長から説明があります。
- 西口ータリークラブから、わがプロバスクラブに卓話の講師派遣要請がありました。講師として浅川会員にご足労願うことになりました。演題は、環境問題についてです。

(2) 各委員会報告

例会委員会（岡本副委員長）

本日の出席数は今日入会の戸谷さんを入れて60名、在籍者数68名で出席率は88.2%です。

情報委員会（長谷川委員長）

平原さんの投稿 154の野ばら は700字でおよそプロバスだより半ページ、荒会員の投稿が1200字で写真を含め約1ページとなります。投稿の目安にしてください。写真も忘れずに。

会員委員会（下田委員長）

8月14日に野口会員がご逝去されまして、会員数は70名になりましたが、本日、戸谷新会員が加わりましたので、総勢71名を維持することができました。従いまして、現状は、実働数68名、休会3名（石井・石田・鶴田各会員）で合計71名となります。

研修委員会（橋本委員長）

① 特別勉強日のお知らせ

日時： 10月23日第4木曜日 13:30~16:00

場所： エルシイ

講師： 峯尾常雄氏（八王子市役所市民活動推進部）

演題： 八王子の街づくり（仮題）

② 野外研修のご案内（吉田副委員長）

八王子→お台場→船の科学館→昼食（レストラン海王）→日本科学未来館→H 日航東京→お台場出発→八王子のコースです。

11月13日（木）朝7時45分 JR八王子たましん前集合です。

地域奉仕委員会（澤渡委員長）

1. 先般お渡しした、学習サロンへのアンケートは回収率67%で、45通ありました。

2. 会員による講師引き受け

20名を超す応募がありました。話題性・新鮮さ・面白さ・わかりやすさ等の観点から16講座を選びたい。

3. 野外サロンの候補地

近場でゆっくり・女性が親しみやすい所の2点で検討中

4. 今後の運営方針

テーマの内容・仕組み・参加費・組織論を検討する。

5. 開講式・閉講式

開講式は骨太のもの

閉講式は親しみやすいもの を目指します。

(3) 同好会報告

○ ゴルフ同好会（小林貞男代表）

第15回プロバスゴルフクラブ結果

1. 開催日：平成20年9月12日

2. 開催場所：GMG八王子ゴルフ場

（ 東コース→西コース ）

3. 参加人員：3組 12名

久々に晴天に恵まれ楽しいゴルフができました。入賞できなかった方々も、皆好スコア一統出でハイレベルコンペとなりました。

成績	氏名	G	H	ネット
優勝	矢島一雄	91	20.4	70.6
準優勝	杉山友一	78	6.0	72.0
第3位	米林伸恭	98	24.0	74.0

○ お茶の会（中野会員）

～ザ・ケン交響楽団ゲニッシュを迎えて～

日独交流演奏会実行委員会（村内道昌委員長）より、八王子プロバスクラブへ楽団の40余人に対し、日本の伝統ある茶を接待してほしいとの依頼があり、8月28日エルシイにて、



お茶のもてなしを実施しました。立川会員より司会の近藤泰雲会員の紹介があり、楽団の方々にお茶を点て、もてなしました。団員より、初めてのお茶を手にして、次々と質問があり、司会の近藤会員より通訳を介して詳しく説明をされ、和やかなうち、終了し、先方からも大変喜ばれました。最後に、団長よりお礼の言葉があり閉幕した。

（文・写真 お茶の会 中野義光）

○ 囲碁の会（矢崎幹事）

10月17日～18日の予定で行われます。

○ 写真同好会（矢島会長）

10月7日（火）～8日（水）（一泊二日）の予定で 乗鞍高原紅葉撮影会を実施します。

7月の撮影会『古代蓮の里と山百合の森』撮影会の作品が会場に並べられました。どれもが傑作でした。その中から一枚選びました。



写真 下山副会長

○ 歴史の会（荒会員）

日時： 9月16日 午前10から12時
場所： エルシイ
講師： 大野聖二会員
演題： 『八王子の中世』



大野聖二先生



熱心に勉強する『歴史の会』のメンバー

鎌倉幕府成立の1185年から徳川連合軍が武田勢を破り安土城を築いた頃までの400年の八王子の歴史について、先生が最近出された小冊子『片倉城・廣園寺・高宰神社の謎を巡って』、他多数の資料を基に2時間ほど話されました。

○ IT塾（矢崎幹事）

毎月第一/第三月曜日開催ですので、奮って御参加ください。

(4) その他

・松尾会員

八王子フィルハーモニー合唱団を代表してお礼の言葉を申し上げます。日独交流演奏会への多数の出席ありがとうございました。またお茶の会への演奏会ドイツ側40名を招き、おもてなしを受けたことにつき感謝申し上げます。

・石田会員（病気休会中）からの手紙

例会資料送付への感謝と同封された終戦翌日の「読売報知新聞」を感慨深く読ませて頂いたお礼が述べられています。

・広瀬会員 人権擁護委員会の催し案内

町田市民ホール 10月4日 江戸のしあわせ

・久野会員 催し案内

八王子消化器病院ロビー 9月26日

コンサート 雅楽の夕べ

7. 卓話

「マルコ・ポーロの東方見聞録」

中世ヨーロッパ社会に与えた影響について
話し手 土井俊雄

ポーロ一家の壮大な旅



今回の卓話は、13世紀のころヨーロッパから中国・上都（現在の北京）にいるフビライ・カーンに会うべく海路と陸路それも過酷な悪路や盗賊団をものともしないベネチア魂のポーロ一家の壮絶な旅のお話です。生涯学習サロン（昨年）にお話させていただきました、「ジプシーの謎を追って」と同様、お話の域を出ないカテゴリーですが、興味をそそられる話です。この卓話のため、7~8冊の参考図書を、読みましたが、その基をなす初稿本が、24版もあり、写本に至っては殆ど数えきらない数に上るといわれております。従つてマルコ・ポーロが本当に行ったのか、見たのか、伝聞なのか、筆者であるルスティケロ（ポーロより口述筆記したといわれる）もその辺を吟味しながら記述したわけではないと思われるので、後々いろいろな研究者の格好の吟味対象になったのは、自然の成り行きと思われます。

当時のユーラシア・アジアの様子

13世紀頃の、ヨーロッパ・アジアを見ますと、中国はモンゴルに侵略され、チベットは吐蕃が治め、西方にオゴタイ、チャガタイ、イル、キプチャク各汗国があり、神聖ローマ帝国、ハンガリー王国、イタリアの北半分は教皇領、南半分がナポリ王国、ベネチアやジェノアはわずかな土地でも貿易で栄えていた。これら東西の間の、重大事はキリスト教と、イスラム教の対立です。両教は、聖地エルサレムに教祖の墓があり対立が絶えなく、十字軍の遠征により、コンスタンチノープル、エルサレムが戦場となった。

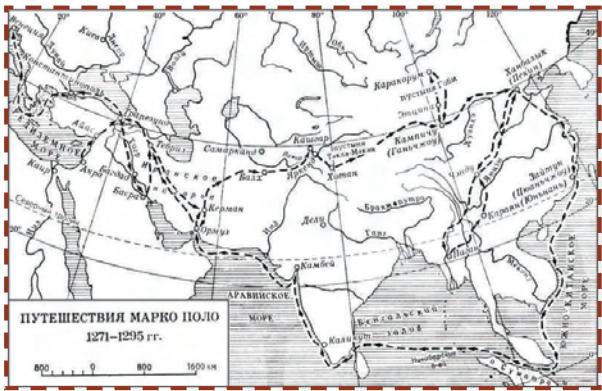
フビライ・ハーンに仕えたマルコ・ポーロ

マルコ・ポーロは、フビライ・ハーンのもとに、17年滞在した。ハーンはマルコの資質を愛でて側近に加えた。その間、ポーロは、帝国の部族長（多くは親戚同族）への使節に任じられ、各方面へと出かけていった。ポーロの報告は、各地の情勢を的確につかみ事細かに報告する内容は常にハーンを満足させた。

ポーロが感心したのは、元王朝の部族のまとめ方、駅伝制度、船や大きな建造物の製作技術、通貨の発行、火薬や航海術等を中国やサラセンより取り入れヨーロッパにもたらしたことであった。

ヨーロッパ中世社会に与えたポーロの影響

中世では、キリスト教による、暗黒政治（キリストの教義に背くことは、政治・文芸・科学・思想すべてにわたって排斥、弾圧を受けた）があったが、14世紀にルネサンス、16世紀に宗教改革が起こった。これらのもとになった考え方は、高度なサラセンや中国の文化、それに、18世紀に花開いた、啓蒙運動の芽生えが、あったとも言われている。さて、この時代にヨーロッパ人が、苦しい旅を敢行したのは何故かという疑問がのこりますが、一つには、珍しい物産を手に入れるだけでなしに、当時キリスト教圏では、イスラムの脅威に対抗すべく、ローマ法王からの命令で、東方の蛮族（タタール）を教化しキリスト陣営に組み込めないだろうか、その探りの使者が、頻繁に送られていた。そのもとにはプレスター・ジョンの伝説もありました。ポーロが口述筆記させていた「東方見聞録」は、大航海時代の幕開けをつくったエンリケ航海王子により、ポルトガル語に翻訳されるとともに、コロンブスに渡され、その航海によりアメリカ大陸の発見につながった。またオーレル・スタインほか多くの探検家の冒険旅行を誘発します。アメリゴ・バスプッチ、マゼラン、なども独自の航路を発見したのです。



マルコ・ポーロの主な行程 ウィキメディア・コモンズより

8. プロバスソング斉唱



9. 閉会（下山副委員長）

八王子の将来をいかにするか、**10月23日の特別勉強会**に多数の参加を期待します。

（例会記録 平 情報委員）

野口正久元会長を悼み

大野聖二会員

当クラブの最長老であった野口正久さんが、8月14日、急性骨髄性白血病で永眠されました、心からお悔やみ致します。昨年まではお元気で、特に今年の2月19日には、六中時代の教え子であった澤渡会員のお世話を頂き、プロバスクラブの「歴史をさかに語ろう会」で『通史八王子の江戸時代』のテーマで沢山の史料を駆使し、江戸時代の八王子を丹念にお話しいただきました。その後まもなく入退院を繰り返され、クラブも体会されていましたが、突然の訃報で惜別の思いを禁じ得ません。

野口さんは平成7年八王子プロバスクラブ設立の時入会されました。創立時33名の会員でしたが、あらゆる意味で八王子にとって素晴らしい知識と教養をお持ちの人達によって構成され、初代会長を仰せつかった私は、重圧を感じながら、これらの人達を活用して、地域貢献できる期待に心がどよめきました。当初から例会、会員、研修、広報、地域奉仕の5つの委員会に編成し、委員会ごとに企画を立てて運営をしました。特に、地域市民への教養活動の推進を目指しましたが、初年度は当面の運営に追われ地域プログラムは難航していました。初代の役員は次年度も留任することになりましたが、この時、地域奉仕委員長に野口さんに就任いただき、研修委員長として生涯学習プログラムを検討中の田子委員長に協力していただくことになりました。野口さんは第六中学校の校長をされ中学校長会の会長として教育界をリードされ、さらに文化財保護委員や八王子千人同心旧交会会長として地域史を研究し、かたがた、千人同心が江戸時代開拓に赴いた縁で、苦小牧市や白糠町との友好にも尽力されました。この野口さんのご協力により、一層地域に密着した生涯学習サロン計画が実現し、多くの市民のご賛同を頂き、60名を超える一般市民の参加を頂き、平成9年2月から、月2回、開講、開講式を含め6講座16サロンの実施計画を持って第1回を実施することが出来ました。第2代藤野豊会長の後を継ぎ、第3代会長に就任され、引き続き生涯学習サロンを推進し、今日の基盤づくりに貢献されました。ここに、野口先生のご功績に感謝申し上げ、ご冥福を祈念いたします。

空き室を郷土史で満たす三代目

編集後記：今期の会長方針の一つに同好会活動の促進があります。今月号は同好会活動を大きく取り上げました。大野会員（初代会長）から野口正久（第3代会長）を悼む追悼文を頂きました。ありがとうございました。